



熱い思いを一つに「大江戸線延伸促進大会」を開催 ～大江戸線延伸に向けて 課題解決に目途！～

と き 11月17日(日)午後2時～3時30分(午後1時30分開場)

ところ 区立大泉第一小学校(大泉町3-16-23)

17日、大江戸線延伸の大泉学園町までの早期実現に向け、地元選出の衆議院議員、都議会議員を来賓に迎え、約900の方が集まり「大江戸線延伸促進大会」を開催した。

大会では、大江戸線延伸促進期成同盟の会長である志村豊志郎区長が、土地区画整理事業をはじめとする区がこれまでに行ってきたまちづくりについても触れたうえで「導入空間の確保については完全に目途が立っている。

大江戸線延伸に向けて関係機関への働きかけを強めていく」と力強くあいさつし、地域の力を結集して、国や東京都に対し、早急に鉄道事業の許可取得に向けた手続きを進めるよう要請していく旨の決議を行った。

当日は、延伸地域在住の落語家、金原亭馬の助(きんげんていうまのすけ)氏による寄席が披露されたほか、参加者には記念品として限定ストラップが贈呈された。

また、会場には実物大のトンネル断面や、現在では手に入らない着工当時(昭和61年)に配布されたパンフレットが展示されるなど、家族連れや鉄道ファンも楽しむ姿が見られた。



【会場の様子】



記念写真を撮影する親子連れ



展示コーナーの様子



大江戸線延伸区間

【大江戸線延伸に向けた、これまでの取り組み】

平成12年1月、運輸大臣(現国土交通大臣)の諮問機関である運輸政策審議会(現交通審議会)は、光が丘から大泉学園町への延伸を「2015年までに整備着手することが適当な路線」として位置付けている。

区は、区北西部の鉄道空白地域を改善するため、大江戸線延伸の早期実現を区政の最重要課題の一つとして位置づけている。区民・区議会が一体となって「大江戸線延伸促進期成同盟(会長 志村豊志郎練馬区長)」を設立し、

25年間、延伸促進活動に取り組んでいる。

区は大江戸線の導入空間となる補助230号線の整備にあわせて、土支田中央土地区画整理事業や地区計画など、沿線地域にふさわしいまちづくりにも取り組んでいる。さらに、大江戸線延伸推進基金を設立(平成23年4月施行)し、毎年継続的に積立てを行っている。